

# ヴェリタス学習会通信 86

予定表カレンダー →



## 令和6年5月の予定

- ・月曜日 5月6・13・20・27日 大安公民館1階研修室 18:30～21:00
- ・水曜日 5月1・8・15・22・29日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00
- ・木曜日 5月2・9・16・23・30日 員弁老人福祉センター1階会議室3 18:00～20:30
- ・金曜日 5月3・10日 北勢市民会館1階リハーサル室 18:30～21:00  
17・31日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00
- ・土曜日 5月25日 北勢市民会館1階リハーサル室 18:30～21:00



藤原文化センターは休止中です。水曜日はヴェリタス事務局で開会しています。

17・31日(金)は、北勢市民会館で先約があり、ヴェリタス事務局で開催します。

24日(金)は事情により、25日(土)に移し、北勢市民会館で行います。

ヴェリタス事務局の所在地は、511-0261 いなべ市大安町丹生川上 650-1 です。

丹生川上集会所(旧丹生川上児童館・教育集会所)内です。

大雨やその他の警報が出ている場合は休会にします。いつもその会場に来ている方にはLINE などでお知らせいたしますが、不安な場合はお問い合わせください。

## 連絡先

ヴェリタス学習会担当まつみやの携帯電話番号：090-7696-0189 (+メッセージも可能)

メールアドレス：npoveritas@gmail.com

LINE ID：m9s0bay (4文字目は数字のゼロです)

Facebook の「松宮 卓」に友達申請していただければ Messenger が使えます。

メールやLINE 登録をしていただいた方には、それを利用して休会連絡を行います。手数料削減協力のため、できる限りご登録ください。LINE を利用して、宿題等の画像を送ってくる子もいます。自分でできるところまでやって送ってもらうと、効果的な返信ができます。



## Zoom などの会議ツールを利用しませんか



今後、さらに利用が広がる Zoom クラウドミーティングや Skype, Facetime, Google Meet などを利用して学習しませんか。興味のある方は、ご相談ください。

## 戦国の世に愛を説（と）く墨子（ぼくし）

日本の弥生時代、卑弥呼が生まれるより700年も前のこと、中国は春秋時代、戦国時代と呼ばれ、国中で戦争が行われていた時代でした。社会や歴史の授業で習った方もいると思いますが、孔子が儒教という教えを広めた時代です。この時代には、孔子の他にもたくさんの思想家が生まれ、それぞれ自分の考えや意見を広めようとしていました。各地の王や貴族に自分の考えを説いて回り、自分の意見を採用してもらうよう働きかけをしていました。この人たちを諸子百家と呼んでいます。



その中に、墨子と呼ばれた人物がいます。紀元前470年頃に生まれ、紀元前390年頃に亡くなったとされています。儒教を学んでいたそうですが、一族や目上・年長者など、敬う相手を区別していることに納得できないようになり、すべての人を平等に愛するようにと説きました。すべての人を等しく愛することを、現在では博愛主義といいますが、この時代は兼愛という言葉を使いました。

## 人類愛と平和

中国がいくつかの国に分かれ、それぞれの国が自分の領土を拡大したり、守ったりするために、戦争を繰り返している時代でした。戦場となる田畑は荒らされ、庶民は苦しい生活を強いられていました。



自分の利益、家族の利益、住んでいる地域の利益、暮らしている国の利益と、優先順位を考えているため、戦争は生じる。自分の利益のために他人を、家族の利益のために他の家族を、自分の国のために他国を踏みにじってもよいという考えに行きついてしまう。これを排除しなければいけないと説きました。キリスト教の「汝の隣人を愛せよ」「汝の敵を愛せよ」にも似ています。



墨子は他国を攻めようとしている国に出向き、侵略をやめるように説得にも出かけます。実際に止めさせたことが記されています。ただし、戦国時代、彼の意見が採用されることはまれでした。

## 非攻（ひこう）

他国を攻めることはしてはいけないとしながらも、自国の防衛はしてもよいと墨子は説きました。墨子のすごいところは、ただ「戦争をしてはいけない」と口で言うだけではなく、攻められている国や城に出向いて、戦いました。弟子たちを引き連れて、城の防衛に当たったのです。

この防衛戦が科学的で、攻撃側は大損害を被ったり、撤退したりしました。一部のすきもないように固く守ることや、考えなどを絶対に改めないことを墨守と言ったりするのは、このことから来ています。

## この時代にこそ墨家（ぼっか）の思想を学んでみる価値が

ロシアとウクライナの戦争、イスラエルとハマスやイランとの争い、アフガニスタン、シリア、リビア、イエメンでも内戦が続いています。



この時代に墨家（墨子やその弟子たちの思想）の考え方を、戦争主導者にぜひ学んでもらいたいと思います。